

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局： TBS	番組名：報道特集	放送日： 2018 年 6 月 23 日
<p>出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、日比麻音子 福島隆史(TBS 解説委員、災害担当) 小島修一(食物アレルギーの予防を取材した記者)</p>		
<p>検証テーマ： 沖縄・慰霊の日、韓国の金鍾泌元首相が死去、秋篠宮家が四年ぶりにご一家おそろい</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄、慰霊の日 ・ 「はれのひ」社長、詐欺容疑で逮捕の可能性 ・ 大阪地震、被災地のボランティアの姿、鉄道も復旧 ・ 大阪高槻市のマンション、三階から転落で一歳児死亡 ・ 宮崎県延岡学園高校のバスケット部、男子留学生の審判殴打、 留学生の留学停止と帰国、バスケット部監督の解任、バスケット部のインターハイ自体と三ヶ月間の対外試合停止 ・ ワールドカップの各国サポーターのロシア入り ・ 沖縄県で梅雨明けと甲子園予選開幕 ・ 韓国の金鍾泌元首相が死去 ・ 秋篠宮家四年ぶりにご一家おそろい ・ ナンパ塾の受講生の性的暴行事件で新証言 ・ 東京大田区、高齢者の免許自主返納者に「卒業証書」 ・ 【特集】 大阪地震 ・ 【特集】 食物アレルギーと最新の予防法 ・ スポーツ報道 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄、慰霊の日 <p>沖縄では今日、戦後 73 年目の慰霊の日を迎えたことが伝えられた。慰霊祭での中学生のスピーチの「73 年前私の愛する島が氏の島と化したあの日小鳥のさえずりは恐怖の悲鳴と変わった。優しく響く三線は爆撃の轟に消えた。」「奪われた命に思いを馳せて心から誓う私が生きている限りこんなにもたくさんの命を犠牲にした戦争を 接待に許さないことをもう二度と過去を未来にしないこと全ての人間が国境を越え人種を越え宗教を越えあらゆる利害を越えて平和である世界を目指すこと。」という言葉が取り上げられていた他、翁長知事の「県民は広大な米軍基地から派生する事件・事故、騒音をはじめとする環境問題等に苦しみ、悩まされ続けています。」、安倍首相の「政府として基地負担を減らすため一つ一つ確実に結果を出していく決意であります。」という言葉が取り上げられていた。また、「平和の礎」や「魂魄の塔」を訪れた遺族の「また来年も来るからね。遺族 みんな成仏したのかな。もう年だから今年で最後かもしれない。」や「毎年来るからね。戦争で亡くなった方がかわいそうだからね。もう忘れられないよ。戦は。」「平和ってものが当たり前ではない、努力しないと得られないものなんだ継続できないものなんだということをやっぱり引き継いでいってほしいな」というように思ってます。」「子供今聞ける話を聞いてそれを伝えていくことが私たちの使命だと感じています。」という声を取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は 185 秒で、放送法の観点からは特に問題は見られなかった。</p> 		

・オープニング：結論→やや問題あり

オープニングで金平茂紀キャスターが「沖縄の戦没者追悼式典を取材して先ほど戻ってきました。闘病中の自分の姿をさらけ出しながら沖縄にこれ以上の基地はいらないと訴えかける翁長知事の言葉を参加者たちは固唾をのんで聞き入っていました。公の人々の発する言葉が荒れ果てているこの国でこれほど真摯な言葉を聞くのは稀なことになってしまいました。」と発言していた。この発言に当てられた時間は 21 秒であり、特定の政治家に対し露骨に肩入れし持ち上げるコメントをスタジオで一方的に言い放つのは放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に反する可能性が高い。

・韓国の金鍾泌元首相が死去：結論→特に問題なし

韓国政界の重鎮だった金鍾泌（キムジョンピル）元首相が 92 歳で亡くなったことが報じられた。金鍾泌氏については朴正熙元大統領の側近として 1965 年の日韓国交正常化交渉を政治決着させたこと、その後も知日派として知られていたこと、常に政界の中核にいて 1980 年代以降は金泳三や金大中元大統領らとともに「三金政治」と呼ばれる時代を築いたことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 30 秒で、放送法第四条の観点からは問題は見られなかった。

・秋篠宮家が四年ぶりにご一家おそろい：結論→特に問題なし

秋篠宮ご夫妻、眞子さま、佳子さま、悠仁さまは今日午後に都内のコンサートホールでインドネシアと日本の国交樹立六十周年を祝う記念コンサートに出席されたこと、一家揃っての公の場は四年ぶりとなること、コンサートでは来日したインドネシア人の生徒による合唱や竹でできた民族楽器の演奏などが披露されたことや、東日本大震災の際にインドネシアから支援を受けた宮城県気仙沼市から気仙沼小学校の六年生が招かれ合唱を披露した事も伝えられた。また、ご一家は曲が終わるたびに熱心に拍手を贈られ、コンサート終了後ご一家は気仙沼小学校の生徒に「とても澄んだ声で心に残りました」など感想を述べられたということも併せて伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 63 秒で放送法の観点からは問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・オープニング

番組冒頭のスタジオでの金平キャスターの「公の人々の発する言葉が荒れ果てているこの国でこれほど真摯な言葉を聞くのは稀なことになってしまいました。」という発言は高齢者の「昔はよかった」という類の発言であれば、過去を過度に美化した上で現在を批判するというありがちなものであるのかもしれないが、公共の電波を用いて国民に情報を伝えるという報道番組での発言であればいただけないものである。

・番組構成

今回は大阪地震についてとアレルギーを巡る最新の医療についてで、どちらも検証テーマからは外れていた特集であったが、どちらの特集も十分に見応えのあるものであった。それだけに、冒頭での金平キャスターの発言はこの番組自体が特定の政治的方向性を帯びている、結論ありきなものである、という印象を抱かせてしまうの

が残念であった。